会議概要

名　　称	令和８年度　第１期第５回新潟市公民館運営審議会	
日　　時	令和８年７月 10 日（金）午前 10 時から正午	
場　　所	クロスパルにいがた 403 講座室	
出 席 者 （敬称略）	委　員	相澤　雅子、阿部　正機、石田　晶子、井上　経久、倉嶋　和見、佐藤　敦子、 藤瀬　竜子、渡邊　正友、渡辺　恵（欠席：登石 亙）
	事務局	中央公民館長、中央公民館職員、各区基幹公民館長
傍　　聴	なし	
報　　道	なし	
概　　要	１　開会 ２　中央公民館長あいさつ ３　議長あいさつ ４　報告・議題 **（１）　公民館の現状と予算・決算について** **（２）　公民館の事業について** ・（１）（２）を合わせて事務局より説明 ▷渡邊（正）委員「公民館の延べ利用者数について、現状をどのように評価しているか。」 【事務局回答】今後施設数についての見直しが必要になるものの公民館は必要な施設であると評価している。 ▷阿部委員「青少年の延べ参加者数が多い理由は、青少年を対象とした事業に注力しているからか。」 【事務局回答】青少年の参加者のうち８割は学習室や居場所づくり事業の利用者である。中学校部活動の地域展開が進められており、学習室等の利用だけでなく、公民館事業についても、中学生が参加できるよう対象年齢を広げるなどの工夫を進めている。 ▷石田委員「高齢者の参加人数の減少ということから、比較的若い高齢者世代における公民館を利用したことがない方への取組が必要。延べ人数は増えても、実際の利用者数はそれほど多くない場合もある。新たな利用者が増える取組をお願いしたい。」 【事務局回答】SNS を活用した広報に力を入れている公民館も増えており、今後も若い世代へ向けた情報発信を工夫したい。 ▷藤瀬委員長「事業件数は増加しているが、参加人数の減少はなぜか。」 【事務局回答】公民館の休館や利用制限が影響している。 **（３）　公民館のあり方について** ・事務局より説明 ▷倉嶋委員「今後、公民館のあり方を検討する中で、避難所としての役割についても検討してもらいたい。」 【事務局回答】公民館施設の見直しには、地域ごとの実行計画を策定し、地域の皆様からご意見を伺いながら検討を進めていく予定。避難所機能については、地域の実情を踏まえながら今後検討する。 ▷相澤委員「学習室はオープンスペースよりも職員の目が届きにくいという面があり、利用者が安心して利用できる環境づくりを今後の課題としてもらいたい。女性専用スペースや男性専用スペースなど、利用しやすい環境づくりについても工夫の余地があるのではないか。」 【事務局回答】今後の検討課題としたい。	

会議概要

	▷藤瀬議長「今後、公民館事業そのものについても指定管理者制度を導入する可能性はあるか。」 【事務局回答】他の自治体では、施設管理と公民館事業をあわせて指定管理者が担っている事例もあるが、本市では社会教育に関する知識や経験を有する職員を配置し、市が主体となって事業を実施することを基本方針としているため、現時点では、公民館事業については指定管理者制度を導入せず、引き続き直営で実施する。 **（４）　審議委員への討議事項「公民館の再編を見据えた公民館の役割と運営のあり方」について** ・事務局より説明 ▷渡辺（恵）委員「施設の老朽化や人口減少を考えると、再編は避けられない流れだが、公民館は文化や教育を公平に地域へ届ける重要な役割を担っている。また、公民館までのアクセシビリティも重要で、こどもや高齢者など交通弱者への配慮も含めて検討していただきたい。」 ▷佐藤委員「公民館以外で実施する事業についても重要であり、スーパーや商店街、お寺なども活用することで、公民館を利用したことのない不特定多数の方々との新たな接点が生まれるのではないか。」 【事務局回答】講座終了後の仲間づくりといった自主グループの育成や地域活動への発展など公民館の特色を生かした事業展開について検討していきたい。 ▷井上委員「地域の特色を生かした活動は地区公民館ならではの役割である一方、市全体で共通して取り組む内容については、市内の各公民館で時期を変えて実施するなど、市民が参加しやすい工夫も必要だと思う。公民館ごとに利用相談や活動を把握しているコンシェルジュのような職員がいることで、利用者にとって相談しやすい体制になるのではないか。また、公民館が取り組むことは現代的課題が一番という意見には反対で、公民館は現代的な価値というよりは、地域に何があったか、何があるかという地域特性を重んじることこそ大切だと思います。」 【事務局回答】家庭教育など全市共通で取り組む内容については、現在も開催時期を調整しながら各公民館で実施している。どの公民館でも適切な案内ができるよう情報共有を進め、体制づくりに努めていきたい。 ▷藤瀬委員長「市の実情に関する説明が中心だったが、今後は地域ごとの住民ニーズについてもさらに把握していくことが重要である。公民館のあり方を考えるプロセスそのものが、人づくり・地域づくりにつながると思う。さらに、防災や交通アクセスなど、公民館だけでは完結しない様々な施策とも連携しながら、公民館の役割や意義を市全体の中で位置付けていくことが大切である。」 **（５）　その他** 次回は、令和８年１０月２３日（金）午前１０時から開催する予定 ５　閉会